

第1師団 練馬駐屯地創設60周年・記念行事

3年ぶり！練馬駐屯地に地域住民が訪れる
第1師団は4月10日、練馬駐屯地において「第1師団創設60周年・練馬駐屯地創設71周年記念行事」を挙行し、第1師団及び練馬駐屯地に対する地域住民の理解と信頼を深めるとともに、隊員の使命の自覚と士気の高揚を図った。



私たちの誇り 運動する自衛隊！

式典は、執行者（師団長）及び観閲部隊指揮官（副師団長）のリベリングによる入場から始まった。その後、観閲部隊の人員767人が師団の威容を示した。式辞で師団長は「我が国周辺の安全保障環境はこの60年間で最も厳しい情勢となっている。まさ

活動最前線！ 地区防衛協会コーナー



世田谷区

世田谷区は東京23区の南西部に位置し、令和3年9月には推定人口94万人で人口が多い区ランキング第一位の区です。世田谷区防衛協会は設立10周年を迎えました。目的を明確に協会活動に取り組みたい。また東京都防衛協会に協力し「自分の国は、自分で守る」という意識の啓蒙、及び自衛隊員が警察官と同じように街中を制服で

に、自衛隊の真価が問われる時代、国民の生命・財産を守り抜くため、還暦を迎え0歳に戻ったように原点に立ち返り首都防衛の備えを完全させていこう」と観閲部隊に訓示した。また来場者に対して「第1師団は最後の最後まで、第1師団の誇りを、第1師団の6千名のみで首都機能を維持することは不可能です。警察・消防・海保・地方自治体等公共機関の皆さんの協力が必須です。電気・ガス・水道・通信・交通・医療などの指定公共機関のライフラインは首都機能の生命線です。防衛産業は日本防衛力そのものです。フル稼働で装備品等の補給・整備をお願いします。自衛隊0日の先方、有事の際は、もう一度自衛官になって銃を取ってください。そのためには健康にご留意を。そして最後にご来場の都民・県民の皆様、引き続き自衛隊の行動に関するご理解ご協力を願います。加えて、普段自衛隊とは中々接することのない市民の皆様が我が国防衛や自衛隊の現状について啓蒙していただければと思っております」と式辞を述べた。



本年度の記念行事は、観閲行進は行わず、各部隊の特性を活かした動的展示と静的展示による部隊紹介を行った。特に注目されたのは今年度より新編された第1偵察戦隊の16式機動戦闘車の迫力ある性能展示であり来場者のどよめきと大きな拍手がわき起こった。装備品展示では、各種装備品がどの様に機能を生かすかについて、来場者に分かりやすく理解して頂く為、装備品の動作的な展示をツアー形式で行った。間近で動く装備品を見て、来場者からは「初めて近くで動いているのを見て感動しました。迫力があって格好良いです」等の感想があった。また、装輪車体験試乗や自衛隊体験のイベントの他、駐屯地食堂では記念会食が和やかに行われ、行事は成功裏に終了した。第1師団司令部 広報班

令和3年度も新型コロナウイルスのまん延により、毎年6月に実施していた「定期総会」が行えず、ワクチンの二回接種が完了する事を予測し、11月に「定期総会と設立10周年記念行事」を行う事となりました。予想通り、11月には東京都の感染者数が二桁となり、定期総会では総会後の記念講演を東京都防衛協会の武内理事長様にお願ひし「新型コロナウイルスと自衛隊」のタイトルで実施したところ、全員が関心をもち受講しました。

小平市

小平市防衛協会は昭和39年4月1日に設立、平成8年6月1日に女性部、平成14年7月1日に青年部を設立し現在に至っております。大きな特色は陸上自衛隊小平駐屯地が所在する小平駐屯地が有る事です。入校する学生は新隊員から幹部自衛官まで幅広く、人事・警務・会計・法務等多岐にわたる教育を実施しており、その教育内容の性質から警務科・法務等においては陸上自衛官だけでなく海上・航空自衛官や事務官等の学生も入校しております。



小平市防衛協会は当駐屯地との交流を中心として年間を通して交流を行っています。この2年間は突如として世界を覆ったコロナ禍の影響を受け、残念ながら滞っています。役員会は感染予防をしっかりと定期的に行い、入校する学生は新隊員から幹部自衛官まで幅広く、人事・警務・会計・法務等多岐にわたる教育を実施しており、その教育内容の性質から警務科・法務等においては陸上自衛官だけでなく海上・航空自衛官や事務官等の学生も入校しております。

東京地本コーナー

令和4年度 東京地本出陣式

自衛隊東京地方協力本部（本部長 山下陸将補）は4月21日、すべての任務必成の気構えを醸成することを目的として、出陣式を実施した。初めに、令和3年度、東京地本を見守ってくれた達磨に、1年間の感謝を込めて本部長が目入れを行った。続いて新たな達磨には、各課室長、各地区隊長、副本部長、来賓、本部長が一筆ずつ目入れを実施し左目を完成させた。目入れ後、来賓を代表して東京地本募集相談員連絡協議会会長高橋章夫様から「祝辞を賜るとともに、各課室の代表者が新年度に向けての所信表明を行った。本部長訓示では、「新年度の達磨には、我が東京地本全員が目指す方向性として『目標達成』、東京地本の目標達成のありべき姿勢として『変化への適応、誇りと絆』を祈願した。今年度も様々な変化に適合しながら各種業務を遂行していく所存である。ともに誇りと絆をもって邁進していきましょう」と述べた。



締めを飾る「関の聲」は本部長より指名された東京地本付 藤井2佐の「変化に適応し、誇りと絆をもって、目標任務を達成するぞ」との掛け声に、全隊員が勇ましく声を響かせ出陣式を終了した。東京地本は、今後も全隊員が一丸となって職務に邁進していくとしている。

新規企業主等に対する援護広報

自衛隊東京地方協力本部（本部長 山下陸将補）は3月15日、新規企業主等8社16名に対し、自衛隊の魅力及び援護業務についての理解の促進を図り、新規の求人獲得に寄与するため、練馬駐屯地において援護広報を実施した。当日は、史料館、整備工場、補給倉庫及び自動車訓練場の見学を実施し、それぞれの場所でも熱心に質問する等興味深い様子であった。また、定年を1~2年後に控えた隊員との懇談の場では、企業側からは「再就職にあたって譲れない条件は何か」、隊員側からは「どのような資格を持っていればいいのか」「女性の採用

羽村市

羽村市防衛協会では毎年、富士総合火力演習・観閲式・自衛隊施設見学・納涼会・忘年会に新春賀詞交歓会として総会と、40名前後の会員が飲食を共にしながら、国の守りを真剣に考える機会をもっていたが、それが失われて丸2年となる。コロナ禍が収束に向かいつつあった本年2月、ロシアによるウクライナへの軍事侵襲が開始された。両国民に多くの死者、負傷者が連日発生している。テレビでは、街にミサイルが撃ち込まれるシーンや、敵戦車に対戦車誘



この為、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながらは、自衛隊への理解・協力の更なる深化のため、積極的に活動する方針である。会長 濱中俊男

「新規企業主等に対する援護広報」は、求人の量の確保のため、今後も定期的な援護広報を実施し、新規企業を開拓するとともに求人質の向上も図っていくとしている。東京地方協力本部 渉外広報室

隊員及び家族の皆様の 遺言アドバイザー 柴田 純一 行政書士 (遺言・相続 専門) 遺言書がなく揉める相続。揉めたら全員が敗者です。勝者は一人もいません。あなたの遺言書があなたの家族を守ります。「遺言書」づくりをサポート致します。 遺言書は、あなたと家族の絆の証明書!! 秘密 行政書士 柴田法務会計事務所 〒173-0035 東京都板橋区大谷口2-24-13 受付時間/10:00~18:00 TEL 03-6780-1408 FAX 03-6780-1409 E-mail/info@yuigonsyo.biz http://www.yuigonsyo.biz/

明治記念館 婚礼・宴会のご用命をお待ち申し上げます 法人営業部 担当 武本 茂 (陸OB 防大27期) TEL: 03-3746-7711 Mobile: 080-2384-9560 E-mail: s.takemoto@meijikinenkan.gr.jp

相続・事業承継 対策と税務申告 税理士・事業承継士 秋田 耕治郎 「命の綱」を繋ぐお手伝い 相続も事業承継も早めの準備が重要です。私たちは、皆様大切な想いと財産を未来へと繋ぐお手伝いをさせていただいております。真心と感謝と祈りを込めて。 秋田会計事務所 相続支援センター 千代田区水道橋相談室 〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-2-16 三弘ビル3F TEL 03-3263-3458 FAX 03-3263-3459 E-mail: akita@tkcnf.or.jp URL: http://www.akita-kaikai.jp

協賛広告有難うございます!